

歯と口の健康週間

6月4日～10日

5

お口のばい菌が、心臓のが作られるのです。つまりバイパス手術を受けた患者さんの血管から発見されています。また、糖尿病にいます。また、心内病の患者さんはそうでない膜炎という心臓の病気で見方よりも数倍歯周病にかかつかるばい菌を調べますと、お口の中のばい菌が発見されます。さらに、お口の炎症がある歯茎から血管に入ったばい菌が血管の壁に溜まり動脈硬化を促進するといふのです。つまり、歯周病は心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす危険があるのです。

歯周病は全身に影響

こうした歯周病と関係の

他にも関係が深いのが糖尿病です。血管に歯周病菌が入り込むことで血糖値をコントロールするインシュリンの働きを悪くする物質

マチ、菌血症、慢性腎疾患

歯(神経)の治療をしたと

最終回の明日は、歯周病

予防の歯磨きについてで

(千葉県歯科医師会)

●健康ライフはお口からー 歯周病と全身の関係

心臓の血管・弁や内臓に歯周病原菌がとりつく

心臓・血管へ

- 動脈硬化
- 感染性心内膜炎
- 狭心症 ●心筋梗塞

心臓発作を
引き起こす確率
約3倍

気管支や肺へ

- 慢性肺炎(老人の死亡原因)

就眠中など知らない内に唾液に混入した
デンタルプラーク細菌が下気道へ流れ込む。
該細菌の口腔清掃が命を救う

脳へ

- 脳血管障害

健康な人の
2倍の
危険性

糖尿病

炎症物質や毒素により糖尿病が悪化
口の中の歯周病原菌が
体内移行に出て、いろいろな悪さを!!

歯周病原菌は赤ちゃんを脅かす!

子宮・羊水へ

- 胎児の成長に影響
- 早産の危険性 確率4倍
- 低体重児産出 確率2倍

早期産後発症
出産の確率
約5倍

外科の医師から指示を受けました。

実は、気をつけないといけないのは歯周病だけではない。歯周病だけではなく、歯周病以外にも影響が出る可能性がある。体の健康を維持するためにもお口のケアは大切なことです。

こうした歯周病と関係の他にも関係が深いのが糖尿病です。血管に歯周病菌が入り込むことで血糖値をコントロールするインシュリンの働きを悪くする物質が報告されてきているので再治療をするように心臓